



報道関係者各位

2025 年 4 月 17 日 (木)
NPO 法人日本ブラインドサッカー協会

個人参加型ブラインドサッカー体験プログラム『OFF T!ME』 2024 年度 (2024 年 4 月～2025 年 3 月) は、371 名が体験 ～本事業開始の 2014 年から 5,000 人以上が参加！～

NPO 法人日本ブラインドサッカー協会 (以下、JBFA) は、個人参加型ブラインドサッカー体験プログラム「OFF T!ME (オフタイム)」を、2024 年度 (2024 年 4 月～2025 年 3 月) に 23 回開催し、合計 371 名に体験いただきましたことを報告いたします。本事業を開始した 2014 年 2 月から、累計で 371 回開催し、のべ 5,135 名に体験いただきました。

● 「OFF T!ME」とは

アイマスクを装着して目を“OFF”にすることで、声を出すこと、聞くこと、そのタイミングや内容など受発信の質の重要性や、自身のコミュニケーションの癖などの気づきを得て、チームビルディングや多様性適応力などの向上を図るプログラムです。



「OFF T!ME」は激しい動きはなく、スポーツやブラインドサッカー経験がない方も楽しめる構成となっています。個人での参加のほか、友人同士、会社の同僚、夫婦でのご参加など、どなたとでも気軽にご参加いただけます。これまでの参加者は、パラスポーツやブラインドサッカーに興味がある方、大会観戦をきっかけに興味を持たれた方、視覚、聴覚、肢体などに障がいのある方、企業の人事や CSR ご担当者、行政の方、プロのフットサル選手など多岐にわたっています。

また、「OFF T!ME」を通じて大会ボランティア活動への参加、企業研修の導入など継続的な関係性の創出につながったり、体験後、ブラインドサッカーやロービジョンフットサルを始めた方もいます。今年度の参加者の中には「OFF T!ME」参加後にクラブチームへ所属し、地域リーグの試合出場を果たした方もいらっしゃいます。今後も JBFA は、ブラインドサッカーの魅力を伝えるとともに、私たちが目指すビジョン「ブラインドサッカーを通じて、視覚障がい者と健常者が当たり前に混ざり合う社会」を体感いただくことで、楽しくコミュニケーションを学ぶ場を提供します。

■ 「OFF T!ME」開催概要

- 今後の開催日程
 - 4 月 28 日 (月) 19:00-20:30 / 会場：高田馬場 / ※終了後懇親会あり
 - 5 月 16 日 (金) 19:00-20:30 / 会場：高田馬場 / ※終了後懇親会あり
 - 5 月 28 日 (水) 19:00-20:30 / 会場：神田 / ※終了後懇親会あり
- 参加対象：18 歳以上の方
- 参加費：4,000 円 (税込)

■ 申込方法と詳細

会場詳細およびお申込みについては、下記 OFF T!ME ホームページよりご確認ください。

<http://www.offtime.jp/>

- プログラムお問い合わせ先：offtime001@b-soccer.jp

※ 「OFF T!ME」の実施実績と体験者の声は 2 ページ目に記載しています。

○「OFF T!ME」実施実績

期間	実施件数	体験者数	平均体験者数/件
2014年2月～2014年3月	6	48	8
2014年4月～2015年3月	43	416	10
2015年4月～2016年3月	45	661	15
2016年4月～2017年3月	42	637	15
2017年4月～2018年3月	46	662	14
2018年4月～2019年3月	40	614	15
2019年4月～2020年3月 ※1	36	591	16
2020年4月～2021年3月 ※2	23	236	10
2021年4月～2022年3月 ※3	15	197	13
2022年4月～2023年3月	28	330	12
2023年4月～2024年3月	24	372	15
2023年4月～2024年3月	23	371	15
累計	371	5,135	

※1 2019年度3月は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

※2 2020年度4月～5月は新型コロナウイルス感染拡大の影響により対面版プログラム開催を中止し、6月～3月はオンライン版を実施

※3 2021年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点よりオンライン版のみを実施

○「OFF T!ME」体験者の声

- 初めてブラインドサッカーを体験してみて、いつも見えている景色が見えなくなるだけですごく怖いと思ったし、その状態でボールを蹴ったりドリブルをする技術がすごいなと思いました。今回の体験で、目の不自由な方の気持ちを知ることができたので、日常生活で目の不自由な方を見かけたら声をかけて少しでもお手伝いできたらいいなと思いました。
- （一番印象に残ったワークは）目隠しをして、参加者全員で名前順にならぶ体験です。声だけでコミュニケーションをとる大変さ、こわさ、を体験したとともにこの環境でサッカーをされている選手に驚きました。
- 準備体操の段階からしっかりと相手に伝わる言葉の使い方をしなければいけないと感じることができました。中盤から終盤はアイマスクを付けた中で周りの音を聞き普段使わないような神経を使った気がします。貴重な体験ありがとうございました。
- 朗読劇でブラサカを知り、パラリンピックで実際に試合を見た時は驚きました。なんでゴールの位置がわかるんだろう？など、自分が目の病気をしたのもあり興味をもちました。もっと、お話をきけたらよかったなあとと思いました。声をかけあったり、手をつないでもらえた時はとても安心感ありました。もっとアイマスクをしたままいろいろなところを歩いたり体験してみたいです。

本件に関するメディアお問い合わせ先

NPO 法人日本ブラインドサッカー協会 広報コミュニケーション室

E-mail: media@b-soccer.jp 電話番号：03-6908-8907

協会ウェブサイト：<https://www.b-soccer.jp>

住所：〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27 ペアーズビル 3 階